

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	原山公園再整備運営事業	階数	地上3F
建設地	大阪府堺市南区原山台2丁5-1の一	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	962 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,300 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年2月14日
敷地面積	17,004 m <sup>2</sup>	作成者	辻村周平
建築面積	1,990 m <sup>2</sup>	確認日	2019年2月14日
延床面積	3,394 m <sup>2</sup>	確認者	06733-19東原理子



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.5

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	<p>本事業は、原山公園の活性化と柵・美木多駅周辺の賑わい創出に寄与し、もって泉北ニュータウンの再生に資することを目的としています。</p> <p>「子どもから高齢者まで誰もが健康づくりを愉しむきっかけとなる公園」をコンセプトに屋外プールや屋内施設にあわせ、公園全体を再整備します。</p>	
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<p>空気質環境として、全てF☆☆☆☆または適用外を使用します。また、中間期において、自然換気は公園側に設けた窓により自然換気を行う計画とします。</p>	<p>建築基準法の1.25倍の耐震性能とします。清掃性・更新性に優れた、維持管理のしやすい内装仕上げとします。自家発電設備・備蓄倉庫・マンホールトイレを有し、災害時には公園が一時的避難場所にもなる計画とします。</p>	<p>現在の急な高低差のある緑道を、バリアフリー法に準じた勾配に整備し、地域へ寄与します。また、里山管理を行い、生物環境の維持保全に取り組みます。</p>
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
<p>設備システムの高効率化を図り、BEIm=0.89を確保します。</p>	<p>躯体や外構にリサイクル材を使用し、また、有害物質を含まない材料を採用しています。躯体打ち込み配管などをせず、解体時においてリサイクル可能な設計とします。</p>	<p>柵・美木多駅からのアクセスに考慮し、公共交通機関の利用を促します。また、交通渋滞対策として警察と協議し、本事業以外にも周囲に駐車場を別事業で確保しています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	原山公園再整備運営事業	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市南区原山台2丁5-1の一部	1.7	A
	主用途/延床面積	集会所 / 3,394.49 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み			
重点項目	評価点	取組み度	
CO <sub>2</sub> 削減	3	● ● ● ● ●	
みどり・ヒートアイランド対策	4	● ● ● ● ●	
エネルギー削減	3	● ● ● ● ●	
建物の断熱性	5	● ● ● ● ●	
安全快適な暮らし	5	● ● ● ● ●	
自然エネルギー利用	—		

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点	
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.3	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	4.0	4
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0		
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	2.5	3
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	5
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.8	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	5.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	5.0		
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	